

第12回日本血栓止血学会学術標準化委員会(SSC)シンポジウム

SSC Symposium 2018

日 程	2018年2月10日(土)9:30～18:50 ※9:00より受付を開始いたします。
会 場	野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区日本橋室町2-4-3 日本橋室町野村ビル(YUITO)6F 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅A9出口直結 徒歩1分) http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/
世話人	川杉和夫(帝京大学 医療技術学部)
参加費	会 員 3,000円 非会員 4,000円 学 生 2,000円(学生証を提示) ※参加費は抄録代を含む

プログラム

学術標準化委員会シンポジウム
午前の部

1. 凝固系／抗凝固療法部会(10:30～13:00)

座長：和田英夫(三重大学大学院医学系研究科検査医学)

川杉和夫(帝京大学医療技術学部)

I. テーマ「凝固因子に関連した出血傾向」

I-1. 群馬大学での自己免疫性出血病 FXIII/13 の診療経験

小川孔幸^{1,2)}, 一瀬白帝^{2,3)}

(¹⁾群馬大学大学院医学系研究科内科学講座血液内科学分野, ²⁾厚労科研「自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成」研究班, ³⁾山形大学医学部分子病態学講座)

I-2. 先天性第 X 因子欠乏症 5 例の phenotype および genotype

長屋聡美^{1,3)}, 朝倉英策²⁾, 森下英理子³⁾

(¹⁾浅野川総合病院検査部, ²⁾金沢大学附属病院血液内科, ³⁾金沢大学医薬保健研究域病態検査学)

II. テーマ「血栓症と抗凝固療法」

II-1. 骨髄増殖性腫瘍(myeloproliferative neoplasms; MPN)(特に本態性血小板血症(essential thrombocythemia; ET))と血栓症

関 義信, 長野央希(新潟大学魚沼地域医療教育センター血液内科)

II-2. 造血管悪性腫瘍と VTE (帝京大学における経験)

川杉和夫, 山本 義, 松尾琢二, 白藤尚毅
(帝京大学医学部血液内科)

II-3. フォンダパリヌクスならびにエドキサバン投与患者の抗 Xa 活性によるモニター

和田英夫¹⁾, 池尻 誠²⁾, 松本剛史³⁾
(三重大学大学院医学系研究科¹⁾検査医学, ²⁾中央検査部, ³⁾輸血部)

2. 血栓性素因部会 (10:30 ~ 13:00)

テーマ「特発性血栓症(遺伝性血栓性素因による)の診療ガイドライン作成に向けて」

座長: 津田博子(中村学園大学栄養科学研究科)

1. 部会活動の紹介ならびに指定難病「特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る)」の診断に際しての問題点

森下英理子(金沢大学医薬保健研究域病態検査学)

2. Antithrombin resistance 検査法の改良: Bovine FXa/Va prothrombin activator システムの構築と血液凝固分析装置適応条件の検討

田村彰吾¹⁾, 川上 萌²⁾, 垣原美紗樹¹⁾, 服部有那¹⁾, 鈴木幸子¹⁾, 高木夕希¹⁾, 高木 明¹⁾,
小嶋哲人¹⁾

(¹⁾名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学, ²⁾名古屋大学医学部附属病院検査部)

3. 消化管静脈血栓症における血栓性素因の頻度と病態

池尻 誠¹⁾, 松本剛史²⁾, 和田英夫³⁾

(三重大学大学院医学系研究科¹⁾中央検査部, ²⁾輸血部, ³⁾検査医学)

4. 我々が経験した重症型先天性プロテイン C 欠損症患者の長期的な抗血栓管理

野上恵嗣, 荻原健一(奈良県立医科大学小児科)

座長: 森下英理子(金沢大学医薬保健研究域病態検査学)

5. 当院で遺伝カウンセリング後に実施した特発性血栓症の2家系の遺伝子解析の検討

根木玲子¹⁾, 宮田敏行²⁾

(国立循環器病研究センター¹⁾周産期遺伝相談室, ²⁾脳血管内科)

6. 特発性血栓症患者のリスク層別化のためのレジストリ構築

辻 明宏¹⁾, 宮田敏行²⁾, 根木玲子³⁾, 大郷 剛⁴⁾, 関根章博⁵⁾, 和田英夫⁶⁾, 山田典一⁷⁾,
野上恵嗣⁸⁾, 森下英理子⁹⁾, 小嶋哲人¹⁰⁾, 村田 満¹¹⁾

(¹⁾国立循環器病研究センター心臓血管内科, ²⁾同 血管内科, ³⁾同 周産期遺伝相談室,
⁴⁾同 肺高血圧症先端医学研究部, ⁵⁾同 創薬オミックス解析センター, ⁶⁾三重大学大学院医学系研究科検査医学, ⁷⁾三重大学医学部附属病院循環器内科, ⁸⁾奈良県立医科大学小児科,
⁹⁾金沢大学病態検査学, ¹⁰⁾名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学, ¹¹⁾慶應義塾大学臨床検査医学)

7. 小児血栓症の特徴と治療戦略

石黒 精¹⁾, 笠原群生²⁾, 阪本靖介²⁾, 末延聡一³⁾, 康 東天⁴⁾, 瀧 正志⁵⁾, 嶋 緑倫⁶⁾,
大賀正一⁷⁾

(¹⁾成育医療研究センター血液内科, ²⁾同 臓器移植センター, ³⁾大分大学小児科, ⁴⁾九州大学
臨床検査医学, ⁵⁾聖マリアンナ医科大学小児科, ⁶⁾奈良県立医科大学小児科, ⁷⁾九州大学成長
発達医学)

3. HIT 部会(10:30 ~ 11:40)

テーマ「ヘパリン起因性血小板減少症の診断, 治療ガイドライン策定に向けて

—検討すべき Clinical Question とは—」

座長: 宮田茂樹(国立循環器病研究センター臨床検査部)

矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学)

1. 診断

1-1. 臨床的診断

河野浩之(杏林大学医学部脳卒中医学)

1-2. 血清学的診断

安本篤史(東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学)

2. 治療

2-1. 急性期治療の臨床課題

伊藤隆史(鹿児島大学病院救命救急センター, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科システム
血栓制御学講座)

2-2. 慢性期治療について—経口抗凝固薬の使用やヘパリンの再投与などの検討—

大谷美穂(札幌医科大学解剖学第二講座)

4. 血友病部会(10:30 ~ 13:00)

テーマ「血友病及び止血異常症の診療の今後のあり方」

第1部 後天性血友病 A 診療ガイドライン改訂について

座長: 藤井輝久(広島大学病院輸血部)

1-1. 改訂のポイント・概略

酒井道生(宗像水光会総合病院小児科)

1-2. 検査・診断におけるポイント

天野景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

1-3. 止血療法におけるポイント

野上恵嗣(奈良県立医科大学小児科学)

1-4. 免疫抑制療法におけるポイント

徳川多津子(兵庫医科大学血液内科)

第2部 合成基質法導入検討WG報告

座長：窓岩清治(東京都済生会中央病院臨床検査医学科)

2-1. 凝固一段法と合成基質法の違い

鈴木隆史(荻窪病院血液凝固科)

2-2. 本邦における血液凝固第VIIIおよび第IX因子測定指標の構築にむけて

藤森祐多¹⁾, 窓岩清治^{2,3)}, 稲葉 浩⁴⁾, 天野景裕⁴⁾, 福武勝幸⁴⁾, 水上素子⁵⁾, 竹谷英之⁶⁾,
長尾 梓⁷⁾, 鈴木隆史⁷⁾, 山崎 哲⁸⁾, 金子 誠⁹⁾, 鈴木敦夫¹⁰⁾, 松本智子¹¹⁾, 野上恵嗣¹¹⁾,
村田 満³⁾

(¹⁾慶應義塾大学病院臨床検査科, (²⁾東京都済生会中央病院臨床検査医学科, (³⁾慶應義塾大学医学部臨床検査医学, (⁴⁾東京医科大学臨床検査医学分野, (⁵⁾東京大学医科学研究所附属病院検査部, (⁶⁾東京大学医科学研究所附属病院整形外科, (⁷⁾荻窪病院血液凝固科, (⁸⁾聖マリアンナ医科大学病院臨床検査部, (⁹⁾山梨大学医学部附属病院輸血細胞治療部, (¹⁰⁾名古屋大学附属病院医療技術部臨床検査部門, (¹¹⁾奈良県立医科大学小児科学)

第3部 血友病診療連携ネットワークの構築

座長：天野景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

3-1. 血友病診療連携委員会の取り組みと課題

白幡 聡(北九州八幡東病院)

3-2. パネルディスカッション

パネリスト：白幡 聡(北九州八幡東病院)

瀧 正志(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)

西田恭治(国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科学)

松下 正(名古屋大学医学部附属病院輸血部)

5. 抗リン脂質抗体部会(11:50～13:00)

テーマ「多彩な抗リン脂質抗体検査の標準化と実臨床における有用性の検討」

1. LA部門

座長：野島順三(山口大学大学院医学系研究科基礎検査学講座)

LA測定の標準化に向けて

内藤澄悦¹⁾, 山崎 哲²⁾, 静 怜子³⁾, 家子正裕⁴⁾

(¹⁾北海道医療大学病院臨床検査部, (²⁾聖マリアンナ医科大学病院臨床検査部, (³⁾群馬大学医学部附属病院検査部, (⁴⁾北海道医療大学歯学部内科学分野)

2. SPA (Solid Phase Assay) 部門

座長：保田晋助(北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学)

山崎 哲(聖マリアンナ医科大学病院臨床検査部)

日本における抗リン脂質抗体 ELISA の標準化に向けて—第 4 報—

本木由香里^{1,2)}, 吉田美香^{1,3)}, 關谷暁子^{1,4)}, 金重里沙²⁾, 家子正裕^{1,5)}, 森下英理子^{1,4)},
野島順三^{1,2)}

(¹⁾抗リン脂質抗体標準化ワークショップ, ²⁾山口大学大学院医学系研究科基礎検査学講座,
³⁾北海道医療大学病院臨床検査部, ⁴⁾金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学,
⁵⁾北海道医療大学歯学部内科学分野)

3. APS 部門

座長：家子正裕(北海道医療大学歯学部内科学分野)

抗リン脂質抗体症候群(APS)疾患レジストリ：希少性疾患における網羅的レジストリの意義と展望

奥 健志¹⁾, 家子正裕²⁾, 久田 諒³⁾, 大西直樹³⁾, 保田晋助¹⁾, 渥美達也¹⁾

(¹⁾北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学, ²⁾北海道医療大学歯学部内科学分野,
³⁾北海道大学病院内科)

午後の部

6. DIC 部会(14:10～16:40)

テーマ「明日からのよりよい DIC 診療を目指して」

第 1 部 救急・外科系

座長：岡本好司(北九州市立八幡病院消化器・肝臓病センター)

阪本雄一郎(佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター)

1. 敗血症診療における DIC 診断のあり方

梅村 讓¹⁾, 山川一馬²⁾, 吉村旬平²⁾, 藤見 聡²⁾, 小倉裕司¹⁾, 嶋津岳士¹⁾

(¹⁾大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター, ²⁾大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センター)

2. 敗血症診療における抗凝固療法のあり方

山川一馬(大阪急性期・総合医療センター救急診療科)

3. 敗血症性 DIC における NETs 形成の検討

下村泰代(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

4. 敗血症性 DIC における感染症治療の適正度と抗凝固療法の効果の関係

望月勝徳, 森 幸太郎, 中村悠太, 今村 浩(信州大学医学部附属病院高度救命救急センター)

第2部 内科系

座長：朝倉英策(金沢大学附属病院高密度無菌治療部)

池添隆之(福島県立医科大学血液内科学講座)

5. APL とそれ以外の AML による DIC の臨床像の相違

一果たして診断基準は同じで良いのか否か？

関 義信¹⁾, 川杉和夫²⁾

(¹⁾新潟大学魚沼地域医療教育センター血液内科, ²⁾帝京大学医療技術学部)

6. 感染症性 DIC 患者における r-TM 使用前後での AT 値の推移

川杉和夫, 山本 義(帝京大学医学部内科)

7. 当院の播種性血管内凝固症候群(DIC)治療に対する遺伝子組換えトロンボモジュリンの効果

—136例(感染症103例と血液疾患33例)の解析—

河野徳明(県立宮崎病院内科)

8. 急性骨髄性白血病における DIC 治療

竹迫直樹(独立行政法人国立病院機構災害医療センター血液内科)

7. 凝固線溶検査部会(14:10～16:40)

テーマ「止血血栓の臨床を支える検査」

座長：山崎昌子(東京女子医科大学医学部神経内科学)

橋口照人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学)

1. 凝固線溶検査部会活動の紹介

橋口照人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学)

2. 検査血液学から探る直接経口抗凝固薬(DOACs)の生化学的特性

藤森祐多(慶應義塾大学病院臨床検査科)

3. 直接経口抗凝固薬(DOAC)服用下のプロトロンビン時間(PT), 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)の日差変動に影響する要因

山崎昌子¹⁾, 志賀 剛²⁾, 近藤真樹³⁾, 田村孝子³⁾, 菊地千絵³⁾, 深瀬千加子³⁾, 河原木智子³⁾,
三浦ひとみ³⁾, 長尾毅彦⁴⁾, 北川一夫¹⁾

(¹⁾東京女子医科大学医学部神経内科学, ²⁾同 循環器内科学, ³⁾東京女子医科大学病院中央検査部, ⁴⁾日本医科大学多摩永山病院脳神経内科)

4. 高齢者になるにつれてDダイマー値は上昇するのか

川杉和夫, 山本 義(帝京大学医学部内科)

5. 抗Xa活性, APTT波形によるDOACのモニター

和田英夫¹⁾, 池尻 誠²⁾, 松本剛史³⁾

(三重大学大学院医学系研究科¹⁾検査医学, ²⁾中央検査部, ³⁾輸血部)

6. 心臓外科手術における包括的凝固検査を用いた周術期モニタリング

伊勢隼人¹⁾, 紙谷寛之¹⁾, 神田浩嗣²⁾, 国沢卓之²⁾, 河原好絵³⁾, 高橋裕之³⁾, 藤井 聡³⁾

(¹⁾旭川医科大学外科学講座心臓大血管外科学分野, ²⁾同 麻酔・蘇生学講座, ³⁾旭川医科大学病院臨床検査・輸血部)

7. 遺伝子組換えトロンボモジュリン製剤の効果を引き出すにあたって凝固検査は有用か？
八島 望, 伊藤隆史(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野)

8. VWD/TMA 部会(14:10～15:20)

テーマ「von Willebrand 病診療ガイドライン(案)」

座長: 松本雅則(奈良県立医科大学輸血部)

1. von Willebrand 病の診断
野上恵嗣(奈良県立医科大学小児科)
2. 遺伝子検査による von Willebrand 病(VWD)の分類
松下 正(名古屋大学医学部附属病院輸血部)
3. von Willebrand 病の治療
日笠 聡(兵庫医科大学血液内科)
4. 後天性 von Willebrand 症候群(血液・免疫疾患)
毛利 博(藤枝市立総合病院)
5. 後天性 von Willebrand 症候群(循環器疾患)
堀内久徳(東北大学加齢医学研究所)
6. ディスカッション

9. 静脈血栓症／肺塞栓症部会(14:10～16:40)

テーマ「VTE 予防の現状とガイドライン改訂に向けて」

座長: 左近賢人(大阪国際がんセンター)

山田典一(桑名東医療センター循環器内科)

1. 整形外科領域における新しい VTE 予防ガイドラインと今後の課題
阿部靖之(熊本中央病院整形外科)
2. 周術期静脈血栓塞栓症予防のエビデンス構築に向けて
池田正孝(兵庫医科大学外科学講座下部消化管外科)
3. 本邦の VTE 予防の現状とガイドライン改定への展望—産婦人科領域から—
杉村 基(浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座)
4. 脳卒中領域における VTE 予防と課題—当科における治療経験を踏まえて—
鈴木海馬, 吉川雄一郎, 竹田理々子, 高尾昌樹, 高橋秀寿, 神山信也, 栗田浩樹
(埼玉医科大学国際医療センター脳卒中センター)
5. 災害時の抗凝固療法ガイドラインの必要性
榛沢和彦(新潟大学医歯学系呼吸循環外科)
6. 静脈血栓塞栓症の臨床研究とデータベース研究における統計学の役割
小椋 透(三重大学医学部附属病院臨床研究開発センター)
7. 総合討論

モーニングセミナー(9:30～10:20)

1. 「日本血栓止血学会の新 DIC 診断基準における Fibrin related maker の有用性」

座長：矢富 裕(東京大学医学部附属病院検査部)

演者：和田英夫(三重大学大学院医学系研究科検査医学)

共催：積水メディカル株式会社

2. 「東京医科大学病院における pd-FVIIa/FX の使用経験」

座長：天野景裕(東京医科大学病院臨床検査医学分野)

演者：備後真登(東京医科大学病院臨床検査医学分野)

共催：一般財団法人化学及血清療法研究所

3. 「PK から考える血友病治療 —その考えは正しい?—」

座長：鈴木隆史(荻窪病院血液凝固科)

演者：澤田暁宏(兵庫医科大学血液内科)

共催：バクスアルタ株式会社

ランチオンセミナー(13:10～14:00)

1. 「DIC 診療における新潮流 ～遺伝子組み換えアンチトロンビン製剤の可能性～」

座長：池添隆之(福島県立医科大学血液内科学講座)

演者：阪本雄一郎(佐賀大学医学部附属病院救急医学講座)

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

2. 「血友病をとりまく女性たち —産業医科大学病院の臨床経験から—」

座長：白幡 聰(産業医科大学)

演者：白山理恵(産業医科大学小児科学)

共催：ファイザー株式会社

3. 「災害後のエコノミークラス症候群(静脈血栓塞栓症)と二次的健康被害及び災害後における抗凝固療法の問題点」

座長：窓岩清治(東京都済生会中央病院臨床検査医学科)

演者：榛沢和彦(新潟大学医歯学系呼吸循環外科)

共催：株式会社 LSI メディエンス

4. 「血友病の AJBR (annual joint bleeding rate) —理想と現実を近づけるために出来ること—」

座長：鈴木隆史(荻窪病院血液凝固科)

演者：徳川多津子(兵庫医科大学血液内科)

共催：バイオベラティブ・ジャパン株式会社

イブニングセミナー

16：50～17：40

1. 「止血における von Willebrand 因子の機能と構造」

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科)

演者：松下 正(名古屋大学医学部附属病院輸血部)

共催：CSL ベーリング株式会社

16：50～18：50

2. テーマ「腎機能障害患者とトロンボモジュリン—適正使用の観点から—」

座長：池添隆之(福島県立医科大学医学部血液内科学講座)

1. 『救急集中治療領域の DIC 患者におけるトロンボモジュリンの薬物動態』

演者：早川峰司(北海道大学病院先進急性期医療センター)

2. 『腎機能障害患者に対するトロンボモジュリン製剤の至適投与量とは?』

演者：石倉宏恭(福岡大学医学部救命救急医学講座)

共催：旭化成ファーマ株式会社

17：50～18：40

3. 「血友病に対する遺伝子治療の可能性」

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科学)

演者：大森 司(自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門)

共催：バイエル薬品株式会社

